

# 学校だより「木原くん」11月号



## 木原力発揮

〒899-4305 霧島市国分郡田 3592

霧島市立木原小・中学校 Tel 49-3106 Fax 49-3116

http://www2.synapse.ne.jp/kihara/top.html

### 『今 そこにある方言の危機』 校長 今村 敏照

先日、新聞の「鹿児島弁 存続の危機？」という見出しに、思わず目が止まりました。鹿児島弁は、家庭・職場・学校等での使用頻度が18～35%で、九州平均を約10%下回るというアンケート結果があるそうです(11/23 南日本新聞)。ふだんあまり意識していませんでしたが、「学校で子どもたちや職員は鹿児島弁使っているかな？」と、あらためて思い返してみました。

子どもたちは学校生活の中で、例えば「庭をはわく」とか「ランドセルをからう」「味が濃い」「なおす」等の言い回しや「ラーフル」など学校定番の単語は使っても、「おい、わい、あたい」「わっぜ」「かかじる」「むぜ」「しもた」のような、世代によっては鹿児島弁を代表するかに感じられるワードなどは、ほぼ聞かれません。

明治以降の標準語化政策や戦後の共通語教育により、全国的に方言は衰退傾向にあります。しかし近年、ユネスコの提唱する「少数民族の文化・言語の保護」の影響で、国内でも風向きが変わりつつあります。一昨年度に奄美大島で開催された『方言サミット』では、絶滅が危惧される言語として「アイヌおよび奄美の言葉・方言」が取り上げられ、保護に向け討論が行われました。

全国的に、鹿児島弁は「わかりにくい方言」の一つとされています。かつて大河ドラマ『翔ぶが如く』では、俳優の薩摩言葉のセリフに対し「標準語字幕」が多用されていました。鹿児島弁の難しさの要因として、個性的な単語意外に、その独特なイントネーションが挙げられます。私自身、県外の友人から「不思議な話し方だね」と何度も言われたことがあります(こちらは標準語で話しているつもりなのですが・・・)。

方言は、排他的一面が指摘される一方、地域出身者のアイデンティティであることは間違いありません。その歴史的・文化的背景を知れば知るほど、より“愛おしく”感じられます。皆様はいかがでしょう？

さて、グローバル化の進む現代社会を生きる“かごんまの子どもたち”は、鹿児島弁=ふるさと言葉についてどんな思いをいただいているのでしょうか。ご家庭でも是非話題にしてみてください。

## 文化祭～輝いた木原っ子★～

11日(土)、多くの保護者・地域の皆様を迎え、「木原中学校文化祭」を盛大に開催することができました。

小学生は、修学旅行で学んだことを発表したり、お芋掘りの経験を昔話につなげて可愛い劇を披露したりしました。中学生は、流暢な英語音声が始まり、1年生が「食糧問題」、2年生が「職場体験」、そして3年生が「環境問題」をテーマにした創作劇を演じました。

最後に、全校児童生徒で「赤いやねの家」「幸せ」を大合唱。そのどれもが、木原っ子らしく一人一人が輝いた瞬間でした。舞台に立ち、役を堂々と演じる姿は本当に立派でした。



## 交流給食

17日(金)、小・中合同で交流給食を実施しました。感染症予防のため、数年ぶりの実施となり、準備や片付けなど不安もありましたが、子どもたちは楽しいお昼のひとときを過ごすことができました。小学校の教室に大きなお兄さんお姉さんが、中学校の教室に小さなかわいい小学生が訪れ、どきどき・・・緊張感もある中、会話を楽しみながら笑顔もたくさん見られました。貴重な小・中交流イベントとして、また次回も実施できるとよいですね。



## おめでとうございます

☆ 県作文コンクール 始良・伊佐地区審査会

【特選】小1 窪田 蒼

☆ 「税に関する作品」習字の部 審査会

【佳作】中1 奥重 ゆず

☆ 「2023 かごしまお茶フェス in 霧島・湧水」絵画コンクール

【霧島市長賞】小3 中村 延路

【大会実行委員長賞】小4 窪田 ひまり

## 《12月の主な行事予定》

1日(金)～7日(木) 校内人権週間

1日(金) 期末テスト(中)、人権集会(小)  
バイキング給食、防犯教室

5日(火) きずなふれあい 集合学習(小5・6年)

7日(木) しろやま号(おはなし会)

8日(金) 上場四校研究推進委員会・養護部会(小)

9日(土) 校内持久走大会、学級PTA

12日(火)～14日(木) 特認通学生体験入学

22日(金) 終業式、大掃除(保護者迎え)

28日(木) 仕事納め

○ かみはしサポーター(山下 先生) 12月の来校予定  
12月13日(水) 9時～12時

※ 相談のご要望がありましたら、教頭までご連絡ください。  
スクールカウンセラーの来校は、1月26日(金)です。

○ 「スクールボランティア」(木原地区在住の方)を募集します。

内容: 動植物のお世話など(休業日などに1時間程度、お礼あり)  
興味のある方は、ぜひ学校へお電話ください。